

埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.4

もう  
ナーチュー毛古墓群

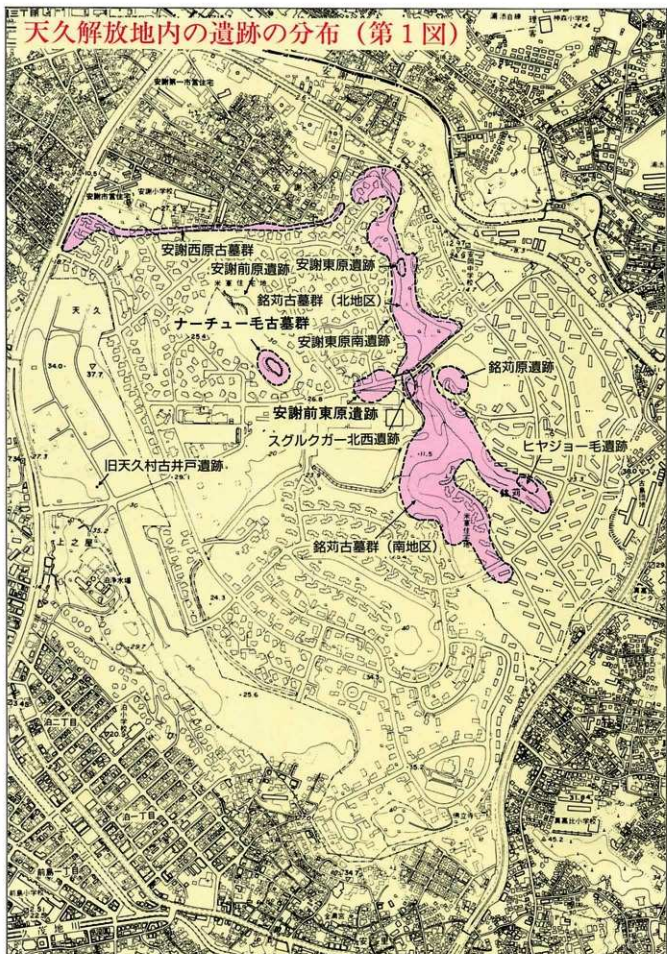
あ じゃ めえ あがり ぼる  
安謝前東原遺跡



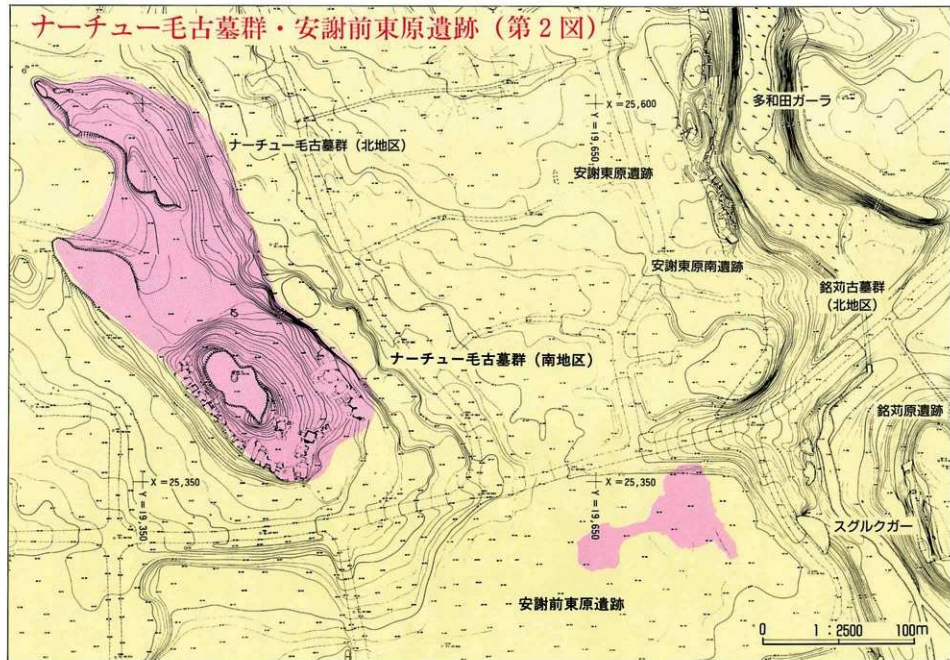
1995年3月

那覇市教育委員会

# 天久解放地内の遺跡の分布 (第1図)



# ナーチュー毛古墓群・安謝前東原遺跡（第2図）



# ナーチャー毛古墓群・安謝前東原遺跡発掘

## (1) はじめに

天久解放地(面積214ヘクタール)では、1988年から1989年にかけて行なった分布調査と試掘調査で、先史時代から琉球王府時代まで幅広い時代の遺跡が9カ所確認されました。

那覇市教育委員会は、「那覇新都心区画整理事業」を進めている地域振興整備公団から委託を受けて、1990年7月に天久解放地内の発掘調査を開始しました。

今回は、1993年度に調査を行なったナーチャー毛古墓群と1993年度から1994年度にかけて調査を行なった安謝前東原遺跡について紹介します。

ところで、遺跡の発掘調査と平行して区画整理事業が進められる中、1993年から1995年にかけて、新たに3遺跡(安謝前原遺跡・安謝東原南遺跡・旧天久村古井戸遺跡)が発見されました。それに伴い解放地内の遺跡は合計12カ所となりました(第1図)。

## (2) ナーチャー毛古墓群の概要

ナーチャー毛古墓群は那覇市宇天久小字水溜原・後原と宇安謝小字前東原・前原に所在

します(第2図)。本古墓群は、解放地内やや北よりの琉球石灰岩の小高い丘に立地しています。かつてその丘は、国道58号線まで延びていましたが米軍の土地造成によって北側の部分は平坦に削り取られています。残された南側斜面に所狭しと59基の古墓が確認されました。そのほとんどは、琉球石灰岩を掘込んで墓室を造った掘込墓(方言でフィンチャーと呼ばれている)と呼ばれるものです。

墓室内には厨子甕(蔵骨器)を安置するための壇(方言でタナと呼ばれている)が設けられています。壇は1～3段設けられる墓が主ですが、中には墓室の壁を出窓状に掘込んで壇を造った墓や墓室の奥にもう一つ墓室を造り足した珍しい墓も見られました。

また、調査では、安置された厨子甕(蔵骨器)のほかにも当時使用されたと思われる沖縄産や本土産の陶磁器、銭貨、キセル、指輪、かんざし、ガラス小玉(ビーズ)などの貴重な資料が得られました。

ところで、本古墓群からは、「康熙七年」(1668年)・「康熙四拾五年」(1706年)と墨書された石棺が確認されています。このことから、本古墓群は少なくとも17世紀頃には墓域として利用されていたことが分かります。

### (3) 安謝前東原遺跡の概要

安謝前東原遺跡は那覇市宇安謝小字前東原に所在します(第2図)。本遺跡は解放地内をほぼ南北に流れる多和田ガーラ(川)の西岸・琉球石灰岩の台地上に立地します。崖下には湧水(スグルクガー)があり、現在でも水を蓄えています。

本遺跡は、かつて米軍の学校用地として造成されており、遺跡の一部が削られたり、逆に2~3mも盛り土された部分があり、表土はかなり攪乱が著しい状況でした。遺跡の調査は、その下層に堆積する遺物包含層と呼ばれる黒色土を慎重に掘り進めて行きました。その結果多くの遺物や遺構が確認されました。まず、遺物では、中国製陶磁器、タイ産半練(土器)、カムイ窯須恵器、土器、石器、銭貨、鉄製品・銅製品、ガラス小玉(ビーズ)などの多種多様な資料が得られました。

これらの資料は12~16世紀頃のものと思われませんが、土器の中には、一時期古いと考えられる沖縄貝塚時代後期(弥生時代~平安時代)特有のくびれた底の資料もありました。

一方、遺構でも、水路を思わせる溝状の遺構や長径約7.0m、深さ約3.5mを測るほぼ円

形状の掘り込み(土坑)、埋葬人骨、炉跡集石遺構、柱穴など、この時期を考える上で貴重な資料が数多く検出されました。

特に、人骨は7体が検出されました。この時期の遺跡から、7体もの人骨が土に埋葬されて確認できた例は県内では初めてで、葬制の変遷を考える上でも、貴重な資料と言えます。さらに、炉跡は6基が検出されました。一遺跡からの検出数としては県内では初めてです。また、その中の3基は人骨の近くで確認されており、興味深い事例として注目されます。

ところで、本遺跡の周辺には、多和田ガーラなどの河川を中心として、ほぼ同じ時期の遺跡が幾つか分布しています。

今後は、このような河川を中心とした遺跡の在り方について詳細な検討が必要と考えます。

### (4) おわりに

天久解放地内の発掘調査は今年度でほぼ終了しました。今回紹介した2つの遺跡は、今後、より細かな資料整理を行なって報告書にまとめる予定です。

## ナーチュ毛古墓群



調査区遠景（南地区）



墓室に安置された桐子甕（敷骨器）



発掘調査状況

調査区遠景（北地区）



墓室に安置された厨子櫃（蔵骨器）  
（北地区）

墓室内の実測調査状況



## 安謝前東原遺跡

調査区遠景



遺跡の層序

大土坑の層序





検出された埋葬人骨



遺物の出土状況

保存のため炉跡を切り取る



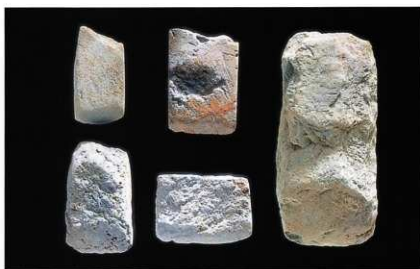
安謝前東原遺跡出土遺物

白磁玉縁口縁碗（中国）



青磁・染付（中国）

石器

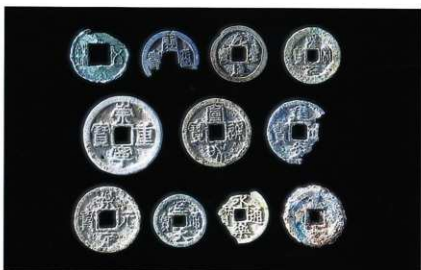


タイ産半練（土器）



土器口縁部・底部

銭貨（中国）





発行／那覇市教育委員会 〒900 沖縄県那覇市樋川12-8-8  
TEL (098) 853-5775  
編集／那覇市教育委員会文化課  
印刷／文進印刷株式会社